

IMSAP スタジオ

イノベーション・マネジメントシステム・
アクセラレーションプログラム

第11期 2025年4月開講

チーム学習で 国際規格に基づいた イノベーションを推進！

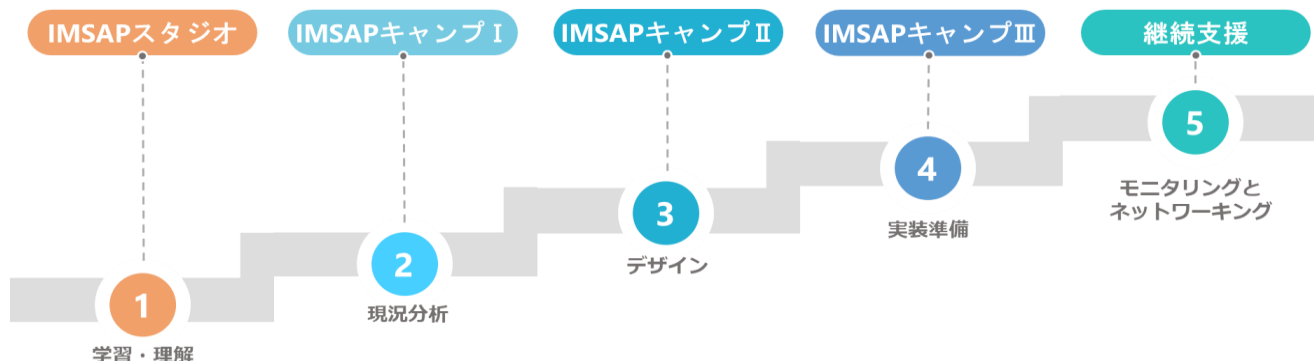
イノベーションに必要なのは古いマネジメントシステムの刷新

イノベーション・マネジメントシステム（IMS）とは？

「本業を持つ組織からイノベーションが興しづらい」のは、既存事業の慣習や経営の常識が、イノベーション活動を阻害するからであり、世界各国の企業の共通の悩みでもあります。そのような悩みを解決するため、IMSの国際規格、ISO56002が2019年に誕生しました。

最新のイノベーション経営を学習⇒実践するためのプログラム

IMSを導入し、イノベーションの成果を出すためには、下図のような順序で進めることが世界標準です。日本代表としてIMSの国際規格作りをリードしてきたJINだからこそ、最先端の知を交えて、支援可能です。



IMSAPスタジオの提供価値

IMSを推進するには、同じ想いを持つ仲間・チームが必要です。IMSのあり方をチームで学習・議論することで、IMS導入・実践する力・考え方を習得していただきます。



最先端の知を習得

ISO56000シリーズに基づき、IMSの要素とあり方を体系的に習得する



推進チーム構築

各社5名で参加し、IMS導入・実践の中核となる推進チームを組織する



IMS導入準備

担当役員の合意獲得を含む、IMS導入・実践に向けた道筋を立てる



コミュニティ参画

IMSプロフェッショナルの一員として、コミュニティに参加する

本プログラム参加をお勧めする企業

- イノベーションが興せないことが経営課題である
- イノベーションの様々な手法に取り組んだものの、成果が出ず苦慮している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか分からない
- イノベーション推進人材の育成が急務である

過去の参加企業の声

- 「IMS導入、イノベーション創出の第一歩として、とても良い体系だったプログラム」
- 「他社との議論が新鮮、自社に足りない部分が理解でき、IMS導入・改善に多くの気づきを得た」
- 「動画がコンパクトで見やすく、理解の促進に効果的」
- 「異なる業界も同じ悩みを持つことが分かった」
- 「日本におけるIMSの第一人者に直接指導をいただけた」

価格

* 各社想定参加人数5人の場合

200万円 (税別)

構成



1. 動画・個人学習

- IMSとISO56002について、動画12本（各回:10-20分程度）で事前学習
- 都合の良い時間に視聴
- 各回の課題に取り組み、対話セッションに参加



2. 対話セッション

- 全5回の対話セッションに複数企業の参加者が集合
- JIN専門家、他社参加者との対話や議論を通じ、規格の深い理解と自社導入のヒントを得る



3. 自社内議論

- 対話セッションでの学びをもとに、自社での実践に向けた道筋や現状の課題をチームで議論
- IMS導入に向けて、中核となるコアチームを立ち上げ

スケジュール

動画学習	対話セッション	自社内議論
1. IMSの基本 2. ISO56002概要解説 3. IMSの原則 4. IMSコンパス	第1回 2025年4月18日 15:00~18:00 ・なぜイノベーションにマネジメントシステムが必要か ・IMSの全体像を理解する ・ISO56002の意味合いを理解する	・なぜ自社にIMSが必要か議論 ・説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化
5. 組織の状況(4章) ・内部外部の論点・利害関係者のニーズと期待 6. リーダーシップ(5章) ・コミットメント・ビジョン、戦略、方針 7. 計画(6章) ・機会とリスク・計画策定・ポートフォリオ	第2回 2025年5月8日 15:00~17:30 ・自社の現状を把握する ・リーダーシップの重要性を理解する ・計画策定の重要性を理解する	・復習テストの実施 ・組織の現状、リーダーシップ、計画策定に関する課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
8.9. 支援体制(7章) ・経営資源の概論と人材・時間と知識 ・財務とインフラ・力量 ・認知度、コミュニケーションと文書化情報 ・ツール、方法と知財のマネジメント	第3回 2025年5月22日 15:00~17:30 ・支援体制の重要性を理解する ・経営資源の投入のあり方を考える	・復習テストの実施 ・自社の支援体制の課題を議論 ・IMS導入に向けた道筋を議論
10-11. イノベーション活動(8章) ・活動の計画・機会の特定・コンセプト創造と検証 ・ソリューションの開発と導入	第4回 2025年6月5日 15:00~17:30 ・イノベーション活動を理解する ・そのプロセスのあり方を考える	・復習テストの実施 ・自社のイノベーション活動のあり方を議論 ・役員・仲間へのアプローチ開始
12. パフォーマンス評価/改善 (9/10章) ・測定/分析/評価および内部監査 ・マネジメントレビューと改善	第5回 2025年6月30日 15:00~17:30 ・評価と改善を通じたマネジメントシステムの習熟の重要性を理解する ・各社のIMS導入に向けた現状を共有し合う	・修了テストの実施 (所定の条件を満たせば、IMS ジュニア・プロフェッショナル認定)

スタジオ講師陣

対話セッションには、各回のテーマに沿った講師（JIN理事、フェロー）が登壇し、それぞれの知識・経験を共有し、IMSの理解を促進します。



松本 毅

常務理事
IMS エバンジェリスト



真野 毅

理事
長野県立大学 教授
ISO国内審議委員



荻原 直紀

IMSAPスタジオ
エグゼクティブ
ディレクター



尾崎 弘之

JIN 加速支援グループ
ディレクター

お問い合わせ・お申し込みはこちらから



ims@ji-network.org



Japan
Innovation
Network

一般社団法人Japan Innovation Network
〒105-0004
東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット
内幸町ビル 3階 CROSSCOOP内
TEL: 03-5510-7188 <https://ji-network.org>

IMP能力開発プログラム

第1期 2025年1月開講

次世代のリーダーシップを築く、真のプロフェッショナルへ

IMP（イノベーション・マネジメント・プロフェッショナル）とは？

組織におけるイノベーションの創出と活用を体系的に推進する専門家であり、組織が変化の激しいビジネス環境で成功するための「イノベーションの舵取り役」として、非常に重要な存在です。アイデア出しやプロジェクト・マネジメントにとどまらず、イノベーションを戦略的に位置づけ、持続可能な価値を生み出すための全体的なプロセスや文化の醸成に対して重要な役割を担います。

組織の未来を切り拓くSIMプログラム

下図は、IMPの成長ステップと認証体系を示しています。ISO 56002に基づき、イノベーションを体系的かつ持続的に推進する実践型学習プログラムであるSIM(Systematic Innovation Management)を活用しながら、各ステージで学びを深め、次世代のリーダーシップを担うプロフェッショナルとして、組織課題に応用可能なスキルを習得し、成果創出と変革を目指します。



本プログラムの提供価値

共通の目標を持つ仲間やチームと共に学び、議論することで、実際の組織課題への適用力やイノベーションを実践する力、考え方及び考え方を習得していただきます。



体系的な知識習得

イノベーションを成功に導く理論やフレームワークを学ぶことができます



高度な専門性を認証

国際基準に準拠した認証を取得し、専門スキルと実力を証明します



リーダーシップ強化

組織変革をリードする力を養い、変革を推進する力を育成します



コミュニティ形成

同志とのネットワーキングで協力関係を構築し、共創の力を高めます

こんな悩みを抱える企業におすすめ！

- イノベーションが興せないことが経営課題である
- イノベーションの様々な手法に取り組んだものの、成果が出ず苦慮している
- イノベーションの必要性は理解しているが、何から着手すべきか分からない
- イノベーション推進人材の育成が急務である
- 社内文化が保守的で、新しい取り組みへの抵抗感が強い
- リーダー層が変革への意識やスキルを十分に持っていない
- イノベーションプロジェクトの計画立案や実行が非効率的
- 社員のモチベーションやクリエイティブさが育成されない
- リスク管理とイノベーション活動のバランスが取れていない
- 社内外のステークホルダーとのコミュニケーションが不十分

価格と構成

価格

*今期限定特別価格（正規価格：25万円）

15万円（税別）

構成



1. オンライン学習

- イノベーション先進国スウェーデンのAmplify社が提供するシステムティック・イノベーション・マネジメント（SIM）プログラム（全14モジュール）を都合の良い時間に順に学習
- 各回の課題に取り組み、ワークショップに参加

2. ワークショップ全4回に複数企業の参加者が集合

- JIN専門家、他社参加者との対話や議論を通じ、深い理解と自社導入のヒントを得る

3. 復習及び自社内議論

- ワークショップでの学びをもとに、自社での実践に向けた道筋や現状の課題を書き出し、理解度と実践力を高める
- 社内での共通認識を構築

スケジュール

※内容及びスケジュールは変更となる場合がございます

事前学習	対話セッション	自社内議論
<ul style="list-style-type: none">・ Amplify教材 Module1~5 質問・気づきの提出	<p>第1回 2025年1月31日(金) 15:00~18:00</p> <ul style="list-style-type: none">・ IMSの基礎	<ul style="list-style-type: none">・ 復習テストの実施・ なぜ自社にIMSが必要か議論・ 説得すべき役員と巻き込む仲間の候補をリスト化
<ul style="list-style-type: none">・ Amplify教材 Module6,7（箇条8） 質問・気づきの提出	<p>第2回 2025年2月14日(金) 15:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none">・ イノベーションプロセスの設計・ 深い洞察を育む	<ul style="list-style-type: none">・ 復習テストの実施・ 自社内でのイノベーション活動の現状と課題を明確化・ プロセス上のボトルネックや非効率性の特定・ ソース配分や役割分担、責任範囲の明確化・ 競合との比較を行い、自社の強み・弱みを把握・ 多様な視点や経験を持つメンバー同士で対話・ アイデアを組み合わせ新しい視点や解決策を発想
<ul style="list-style-type: none">・ Amplify教材 Module8,9（箇条5） 質問・気づきの提出	<p>第3回 2025年2月26日(水) 15:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none">・ イノベーション戦略の立案・ トップマネジメントの巻き込み方	<ul style="list-style-type: none">・ 復習テストの実施・ 人材、時間、予算などのリソースをどのように配置するか検討・ 効果的な投資計画の立案、必要なサポート体制の構築・ イノベーション活動をリードする役割と責任の明確化
<ul style="list-style-type: none">・ Amplify教材 Module12,13（箇条4,9） 質問・気づきの提出	<p>第4回 2025年3月12日(水) 15:00~17:00</p> <p>イノベーション文化の醸成</p> <ul style="list-style-type: none">・ イノベーション・パフォーマンスの評価	<ul style="list-style-type: none">・ 復習テストの実施・ 失敗を恐れずチャレンジするマインドセットの育成・ 自社内外のイノベーション成功事例・失敗事例を振り返り分析

プログラム講師陣



真野 毅

理事
長野県立大学 教授
ISO国内審議委員



尾崎 弘之

JIN 加速支援グループ
ディレクター



鬼塚 麗奈

JIN 加速支援グループ
リサーチャー

お問い合わせ・お申し込みはこちらから



ims@ji-network.org



一般社団法人Japan Innovation Network
〒105-0004
東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット
内幸町ビル 3階 CROSSCOOP内
TEL: 03-5510-7188 <https://ji-network.org>